

IPMATE FT3000R-ST対応 WindowsNT®ドライバのインストール手順について

2000年11月

<はじめに>

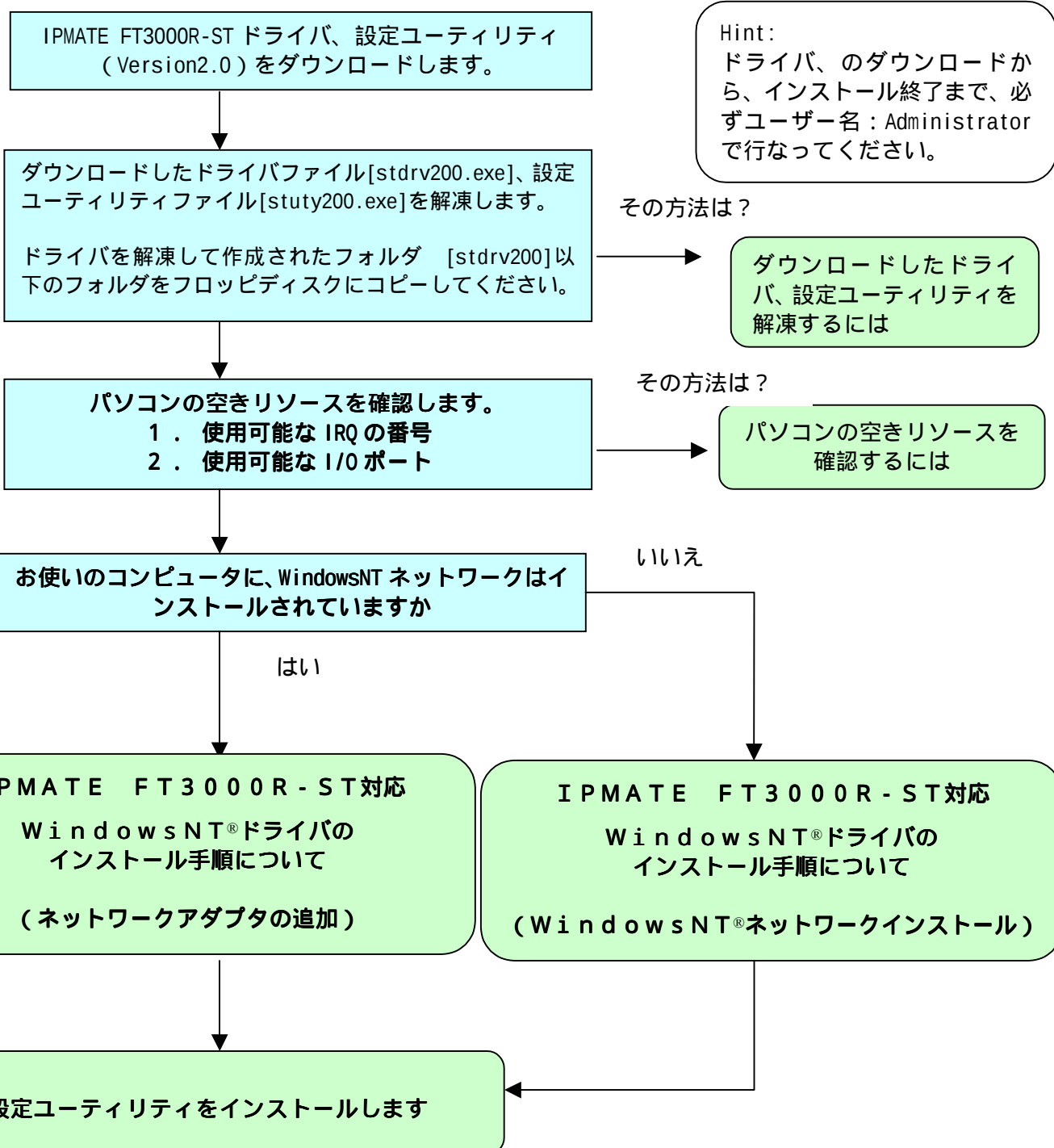
このたびは、IPMATE FT3000R をお買い求め頂き誠にありがとうございます。

本書では IPMATE FT3000R-ST を WindowsNT® でご利用いただくためのネットワークドライバのインストール方法についてご説明しています。本書の手順を良くお読みになって、ドライバのインストールを行ってください。

・Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

<インストールの流れ>

IPMATE FT3000R-ST を WindowsNT® で使用する場合、お使いのコンピュータによって、インストール手順が異なります。まず、お使いのコンピュータの環境をご確認ください。



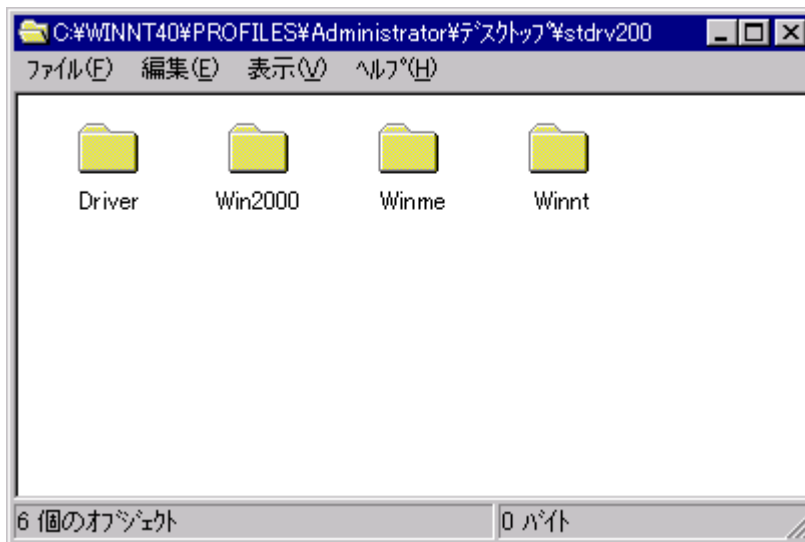
ダウンロードしたドライバ、設定ユーティリティを解凍するには

<ドライバファイルのダウンロード>

ホームページより、IPMATE FT3000R-ST用ドライバ、設定ユーティリティをダウンロードします。
保存先には、お使いのパソコンの「デスクトップ」を指定してください。
ダウンロード後、デスクトップにドライバ：stdrv200.exe 設定ユーティリティ：stuty200.exe
という名前の実行形式ファイルが作成されます。

<ドライバファイルの解凍手順>

1. デスクトップにダウンロードされた、[stdrv200.exe]をダブルクリックします。
デスクトップ上に、[stdrv200]というフォルダが作成されます。
2. [stdrv200]フォルダを開くと、以下のディレクトリ構成になっています。



3. フォーマットされたフロッピーディスクをフロッピードライブにセットします。
4. メニューバーから [編集] → [すべてを選択] をポイントし、[コピー] をクリックします。

メニューバーから、[ファイル] → [送る] をポイントし、[3.5インチFD]をクリックします。
ドライバファイルがフロッピーディスクにコピーされます。
5. コピーが終了したら、フロッピーディスクの内容が、以下の通りであることを確認してください。



<設定ユーティリティの解凍手順>

- 1 . デスクトップにダウンロードされた、[stuty200.exe]をダブルクリックします。
デスクトップ上に、[stuty200]というフォルダが作成されます。
- 2 . [stdrv200]フォルダを開くと、以下のディレクトリ構成になっています。

この後、次ページを参照して、パソコンの空きリソースを確認してください。

パソコンの空きリソースを確認するには

< 空きリソースの確認 >

WindowsNT®は、IPMATE FT3000R-STが使用するリソースを手動で設定する必要があります。
このため、ドライバのインストールを始める前に、空いているリソースを確認してください。

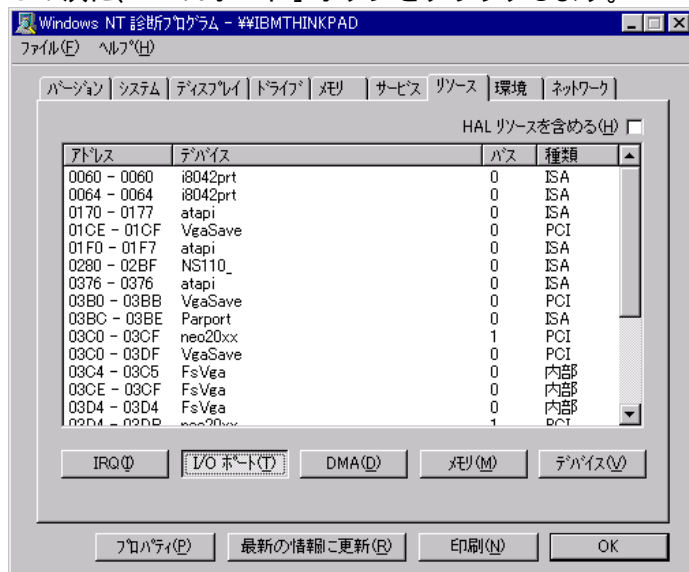
< 空きリソース確認の手順 >

1. 「スタート」→「プログラム」→「管理ツール」の順にポイントし、「WindowsNT診断プログラム」をクリックします。
2. 「リソース」タブをクリックし、[IRQ]ボタンをクリックします。
IRQの使用状況が表示されます。



IPMATE FT3000R-STのIRQの初期値は4です。
使用可能なIRQは、2～15です。

3. 次に、「I/Oポート」ボタンをクリックします。



IPMATE FT3000R-STのI/Oポートの初期値は120です。
使用可能なI/Oポートは、0110-C3D0です。

- ・ IPMATE FT3000R-STのリソース初期値での競合が想定される場合は、手動で変更してください。

空きリソースを確認後、ドライバのインストールを行なってください。

IPMATE FT3000R-ST対応
WindowsNT®ドライバのインストール手順について
(WindowsNT® ネットワークのインストール)

2000年11月

<はじめに>

このたびは、IPMATE FT3000R をお買い求め頂き誠にありがとうございます。

本書では IPMATE FT3000R-ST を WindowsNT®でご利用いただくためのネットワークドライバのインストール方法についてご説明しています。本書の手順を良くお読みになって、ドライバのインストールを行ってください。

・Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

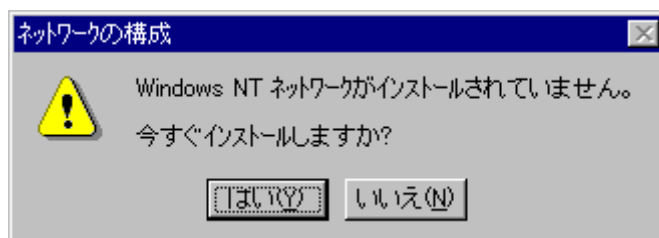
<インストール手順>

IPMATE FT3000R-ST を WindowsNT®で使用する場合、IPMATE FT3000R-STのネットワークドライバをインストールします。

1. パソコンを起動し、Administratorとして、ログインします。
2. IPMATE FT3000R-STを PCMCIAスロットにセットします。

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」の順にポイントすると、「コントロールパネル」のウィンドウが表示されます。その中から「ネットワークコンピュータ」のアイコンをダブルクリックしてください。

ここで、



というウィンドウが表示される場合は、WindowsNT® ネットワークのインストールを行う必要があります。

[はい] を選択し、このままWindowsNT® ネットワークのインストールを進めてください。

3. ネットワークの接続形態を選択します



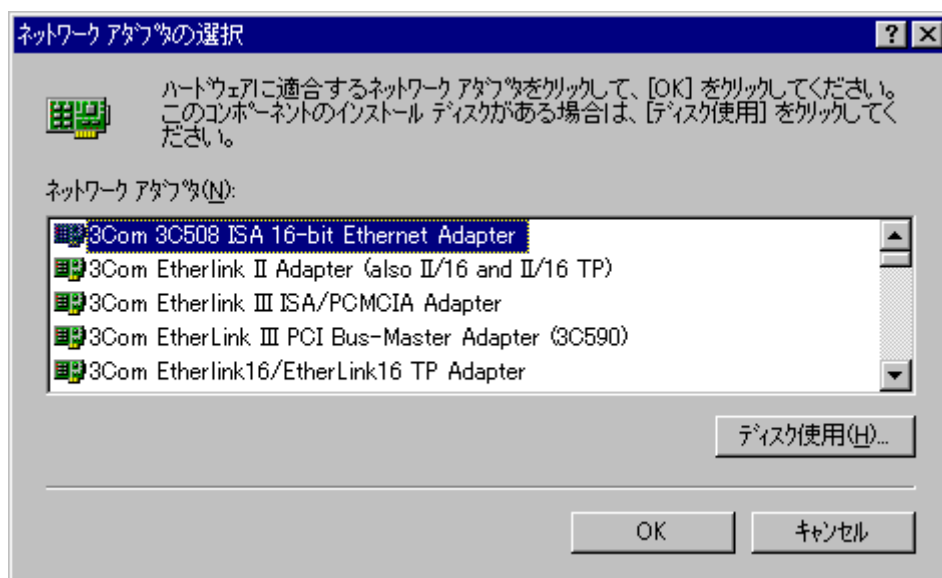
「ネットワークに接続」のチェックボックスにチェックを入れ、[次へ]を押してください。

4. ネットワークアダプタの選択方法を決定します。



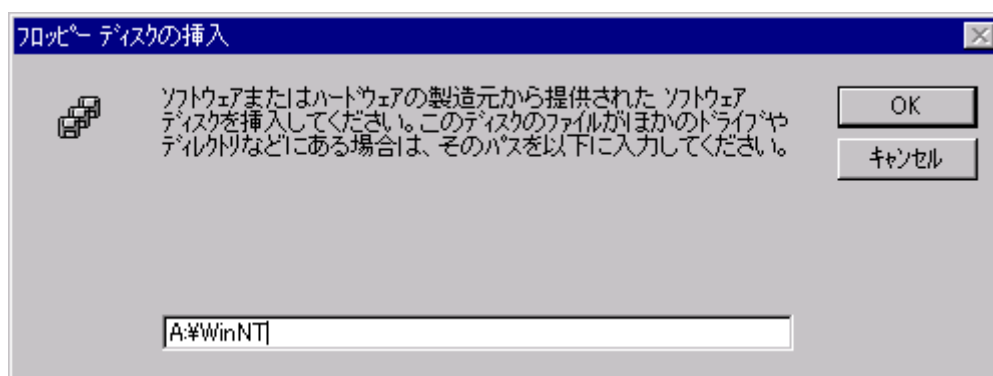
[一覧から選択]を押してください。

5. ネットワークアダプタを選択します。



[ディスク使用] のボタンを押してください。

6. フロッピーディスクを挿入します。



新しいドライバファイルの入ったフロッピーディスクをAドライブにセットし、ダイアログボックスに「A:\WinNT」が入力されていることを確認して、「OK」を押してください。

7. ソフトウェアを選択します。



選択欄に「NTT IPMATE FT3000R-ST PCMCIA Driver」が表示されることを確認して、[OK] を押します

8. ネットワークアダプタを確認します。



ネットワークアダプタのリストに「NTT IPMATE FT3000R-ST PCMCIA Driver」が表示され、チェックボックスにチェックが入っていることを確認して、「次へ」を押してください。

9. ネットワークプロトコルの選択



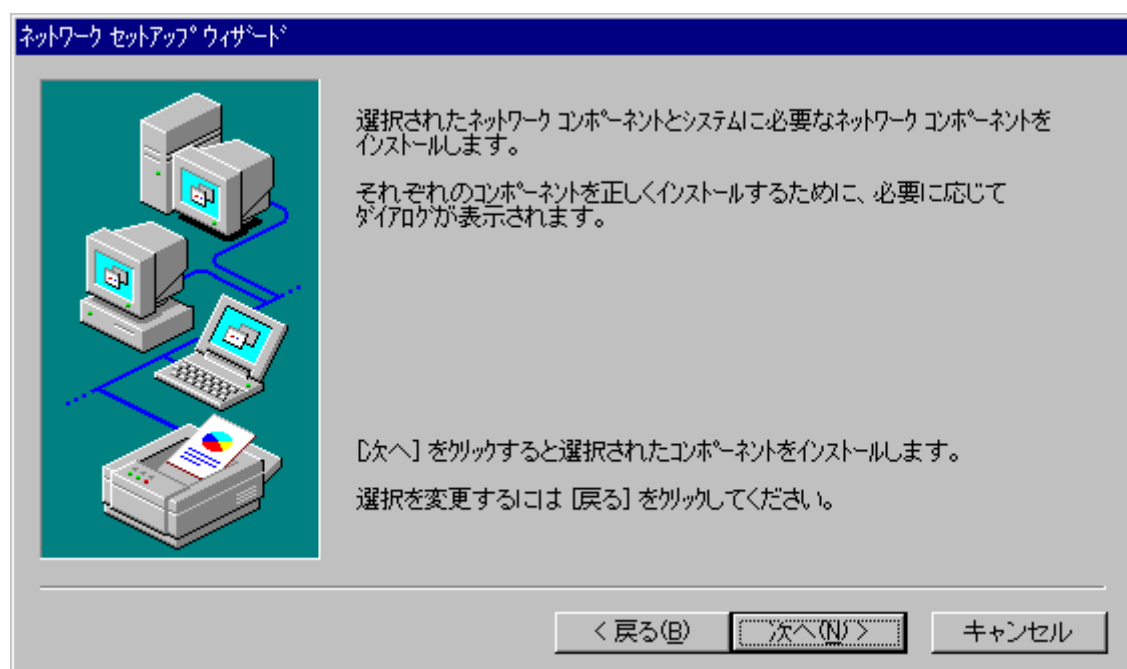
「TCP/IP プロトコル」にチェックを入れて、[次へ]を押してください。
もしも「TCP/IP プロトコル」がリスト中に存在しない場合には、[一覧から選択]を押し、その中で「TCP/IP プロトコル」を追加選択していただいて、この画面で改めて「TCP/IP プロトコル」にチェックを入れてください。

10. ネットワークサービスのインストール状況を確認します。



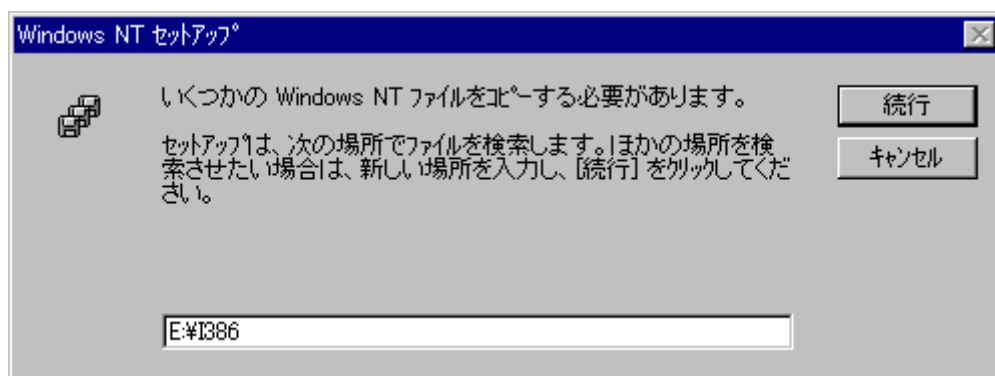
[次へ] を押して、先に進んでください。

11. ネットワークコンポーネントをインストールします。



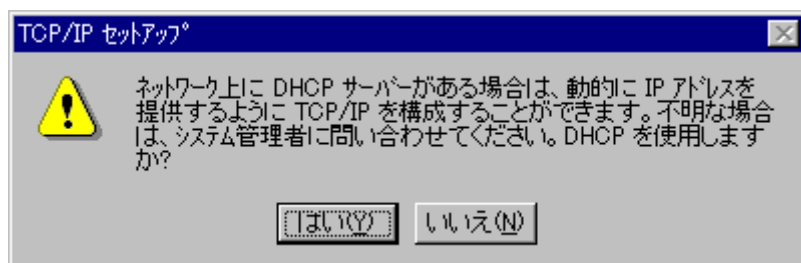
[次へ] を押して、先に進んでください。

1 2 . システムファイルをコピーします。



上記のウィンドウが表示されたら、CD-ROMドライブにお使いのパソコンに付属のCD-ROMディスクをセットします。上記の例は、CD-ROMドライブがEドライブに設定されている場合です。もしくはハードディスク上のI386ディレクトリを指定します。

1 3 . DHCP機能を設定します。



[はい]を押して、先へ進んでください。

1 4 . ネットワーク情報の一覧が表示されます。



[次へ]を押して、先へ進んでください。

15. ネットワークの起動準備が完了しました。



[次へ]を押して、先へ進んでください。

16. ネットワークコンピュータのワークグループを設定します。



「ワークグループ」の設定が完了したら、[次へ]を押して先に進んでください。

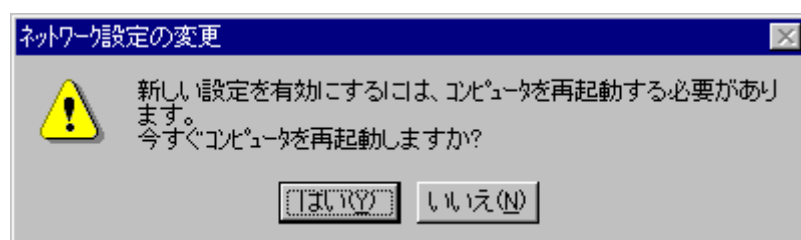
17. ネットワークのインストールが終了しました。



以上で設定は完了です。

[完了] ボタンを押すと、以下のようなウィンドウが表示されます。

18. 再起動の確認



フロッピーディスク、およびCD-ROMを書くドライブから取り出してください。

[はい] を押してコンピュータを再起動し、ネットワークが問題なく利用できることを確認してください。

以上でネットワーク、およびIPMATE 3000R-STネットワークアダプタのインストールは終了です。
この後、設定ユーティリティをインストールしてください。

IPMATE FT3000R-ST対応
WindowsNT®ドライバのインストール手順について
(ネットワークアダプタの追加)

2000年11月

<はじめに>

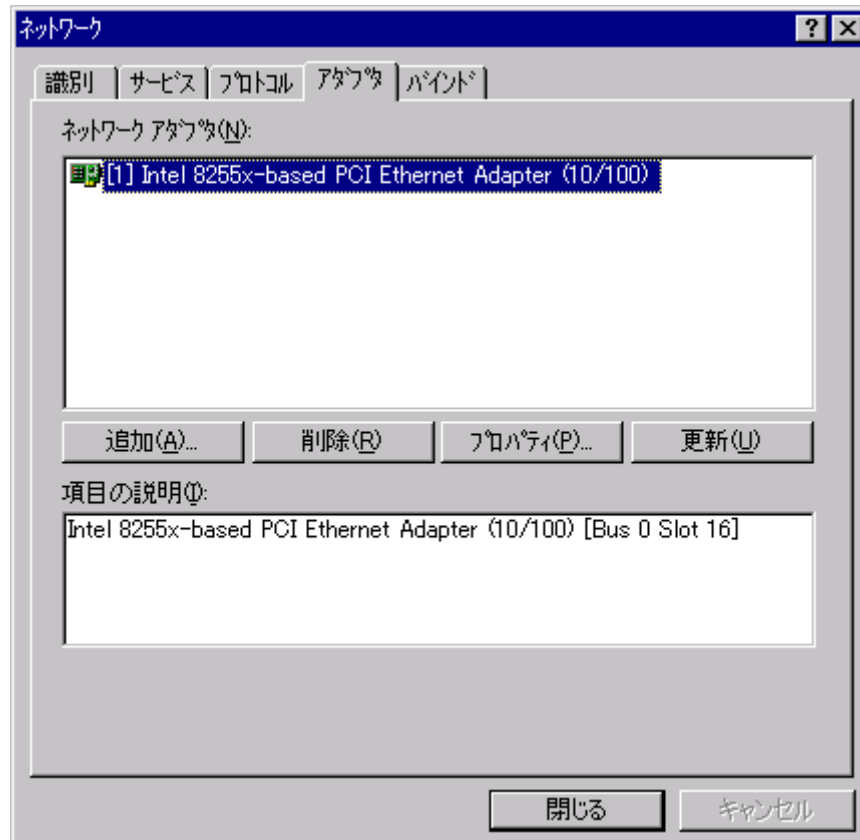
このたびは、IPMATE FT3000R をお買い求め頂き誠にありがとうございます。
本書では IPMATE FT3000R-ST を WindowsNT®でご利用いただくためのネットワークドライバのインストール方法についてご説明しています。本書の手順を良くお読みになって、ドライバのインストールを行ってください。

・Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

<インストール手順>

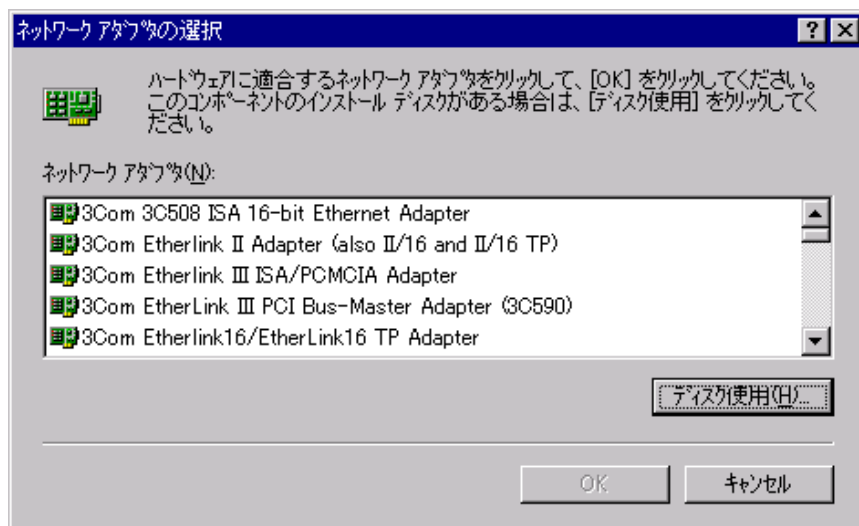
IPMATE FT3000R-ST を WindowsNT®で使用する場合において、お客様のご利用環境において、すでにネットワーク環境が構築されている状態での、IPMATE FT3000R-STネットワークドライバのインストール手順を説明します。

- 19．パソコンを起動し、ユーザー名：Administratorとして、ログインします。
- 20．IPMATE FT3000R-STをPCMCIAスロットにセットします。
- 21．「スタート」→「設定」をポイントし「コントロールパネル」をクリックすると、「コントロールパネル」のウィンドウが表示されます。
「ネットワーク」のアイコンをダブルクリックし、「アダプタ」のタブを選択します。

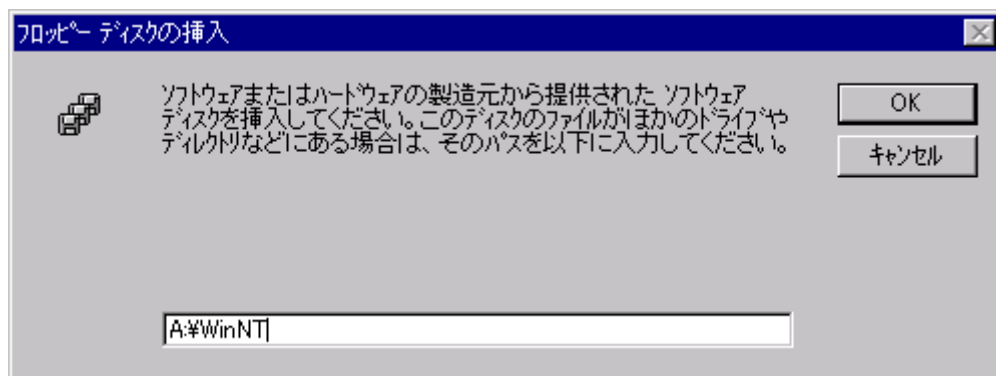


現在インストールされている、ネットワークアダプタの一覧が表示されます。ここに IPMATE FT3000R-STのネットワークアダプタを追加します。[追加]のボタンを押してください。

- 2 2 . ドライバファイルをコピーしたフロッピーディスクを、フロッピーディスクドライブA:にセットし、「ネットワークアダプタの選択」画面で[ディスク使用]をクリックします。



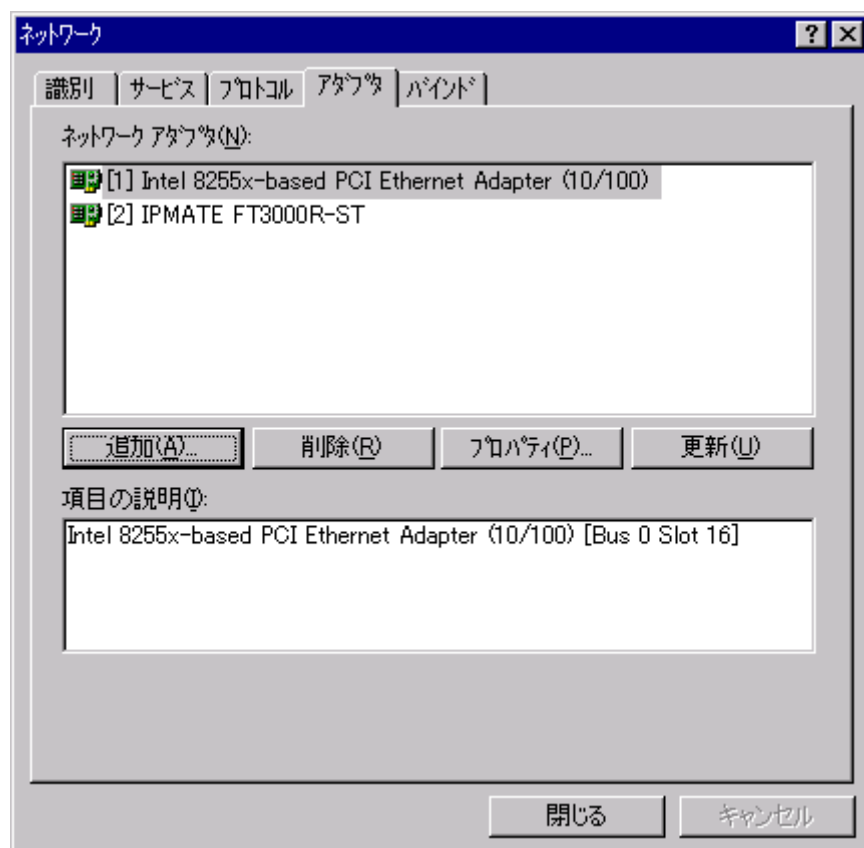
- 2 3 . 「フロッピーディスクの挿入」画面で、「A:¥WinNT」と入力して[OK]をクリックします。



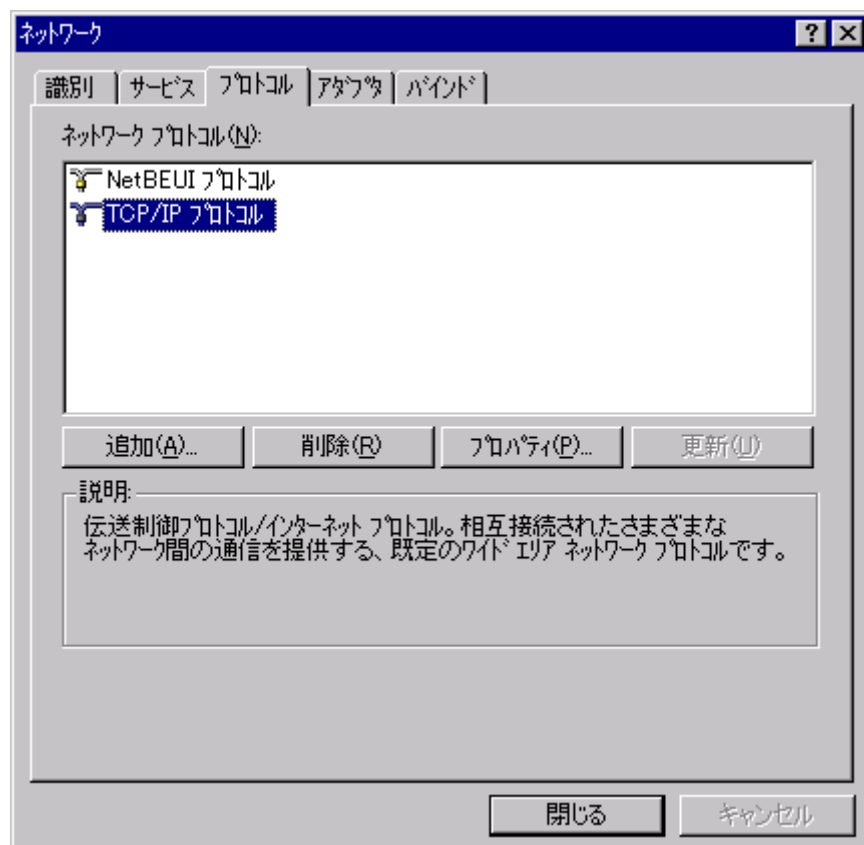
- 2 4 . 「OEM オプションの選択」画面に、「NTT IPMATE FT3000R-ST PCMCIA Driver」と表示されることを確認して[OK]をクリックします。



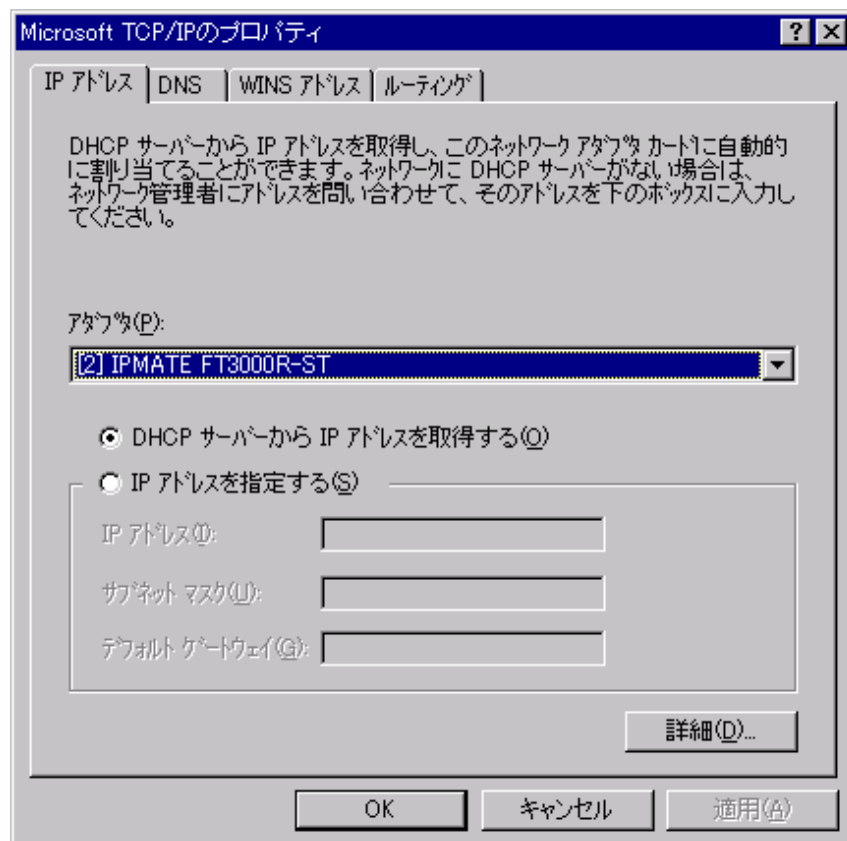
25. 「ネットワーク」画面の「ネットワークアダプタ」一覧に、IPMATE FT3000R-STが追加されたことを確認し、[バインド]タブをクリックします。



26. 「バインドの確認」後「ネットワーク」画面の[プロトコル]タブをクリックし、「TCP/IPプロトコル」をクリックして、[プロパティ]ボタンをクリックします。



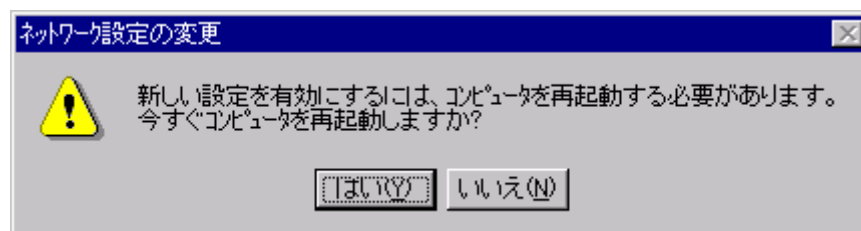
27. 「Microsoft TCP/IPのプロパティ」画面で「アダプタ」タブを選択します。
「アダプタ」のドロップダウンリストを「IPMATE FT3000R-ST」に合わせ、「DHCP設定サーバーから IP アドレスを取得する」をクリックして、[OK]をクリックします。



28. DHCPを有効にすることを確認する画面が表示された場合は[はい]をクリックします。



29. ネットワークの設定が完了し、再起動の確認



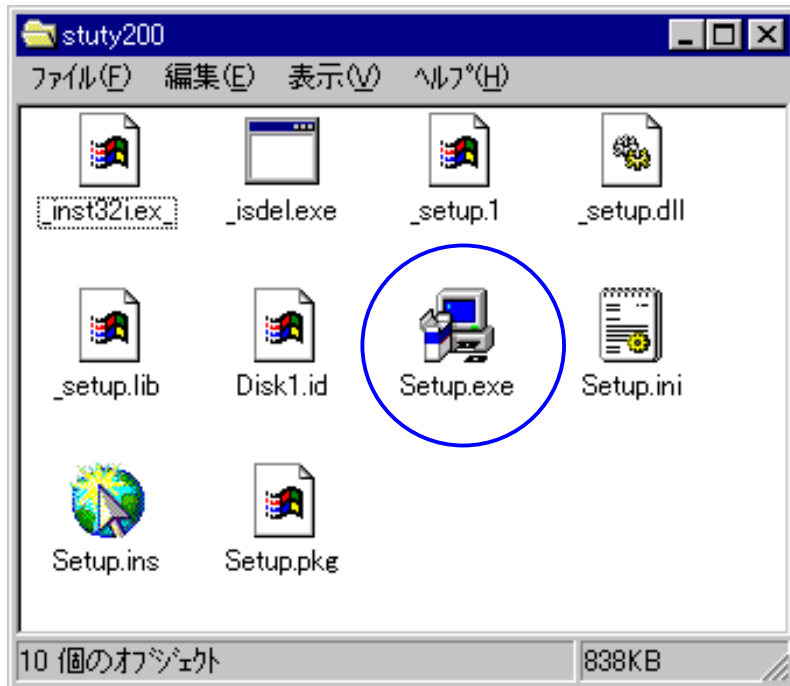
[はい] を押してコンピュータを再起動し、ネットワークが問題なく利用できることを確認してください。

この後、設定ユーティリティのインストールを行ないます。

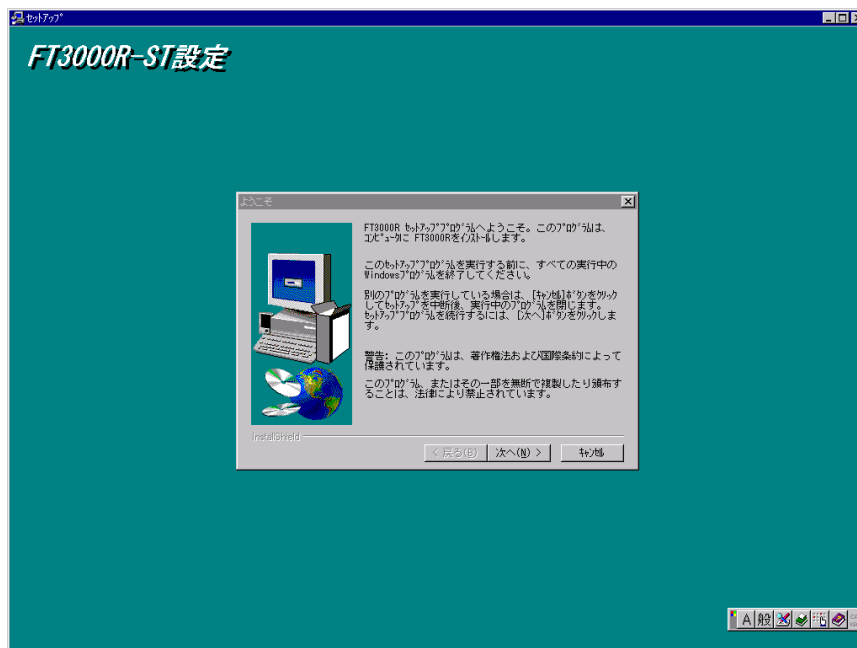
IPMATE FT3000R-ST対応
設定ユーティリティのインストールについて

<設定ユーティリティのインストール手順>

1. デスクトップ上の「stuty200」フォルダをクリックします。
「Setup」ファイルをダブルクリックします。



2. インストーラが起動されます。[次へ]をクリックします。



以降、画面の表示にしたがって設定ユーティリティをインストールします。

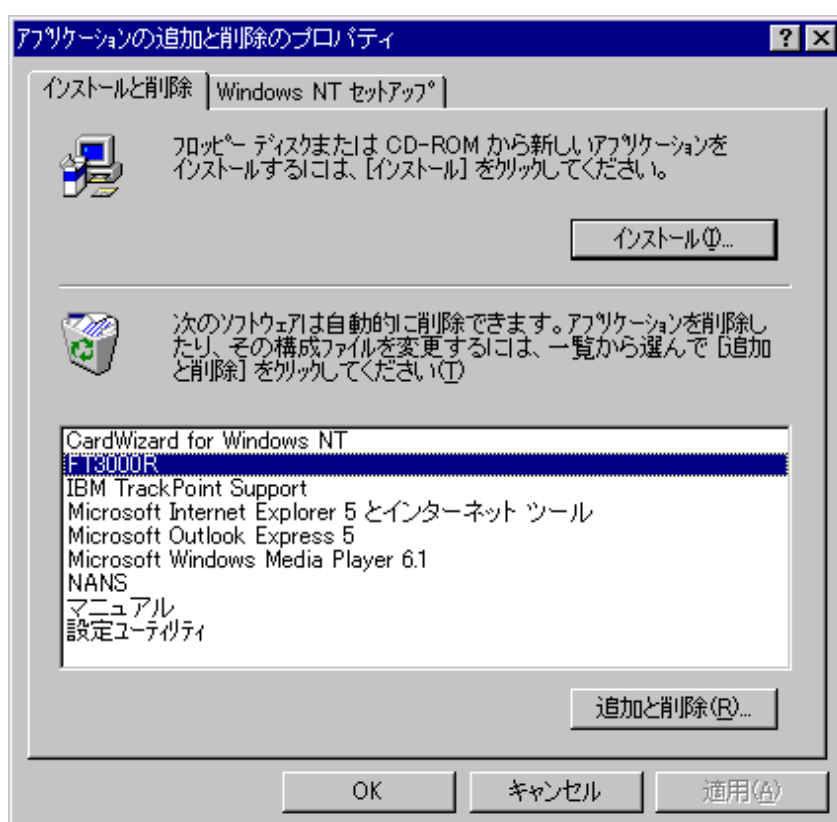
以上でインストール作業は終了です。
IPMATE FT3000R-ST 取扱説明書をご参照のうえ、「ESSID」を変更してください。

IPMATE FT3000R-ST対応

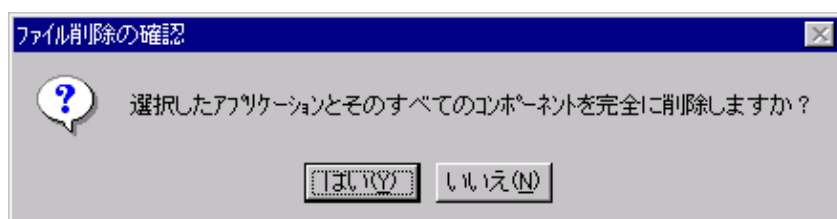
設定ユーティリティの削除について

<設定ユーティリティの削除手順>

1. [スタート] → 「設定」の順にポイントし、[コントロールパネル]をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
2. 「コントロールパネル」から、[アプリケーションの追加と削除]をクリックします。
「アプリケーションの追加と削除」画面が表示されます。
3. 「現在インストールされているプログラム」の中から「FT3000R」をクリックし、[変更/削除]ボタンをクリックします。



4. [ファイル削除の確認]画面が表示されます。
[はい]をクリックします。



- 5 . 削除プログラムが起動され、「FT3000R」（設定ユーティリティ）が削除されます。
「インストールが完了しました」と表示されたら、[OK]ボタンをクリックしてください。
- 6 . 「アプリケーションの追加と削除」画面で、[閉じる]をクリックしてください。

以上で、設定ユーティリティが削除されました。